

【路線バス】ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載 新型路線バスデビュー

京阪バスでは、2019 年 12 月に「ドライバー異常時対応システム（EDSS）」を装備した新型ノンステップバスを導入しました。



写真は2019年12月に京田辺営業所へ3両配属された内の2両。

2020年3月末までに京阪バスで18両が配属予定です。

※運行スケジュールに関するお問い合わせはご遠慮下さい。





今後導入するバス（一部車両を除く）に EDSS を搭載する予定です。
さらに高いレベルの安全性を求め、取り組みを進めていきます。

【ドライバー異常時対応システム（EDSS：Emergency Driving Stop System）】とは？

走行中、運転手が急病等で運転できなくなった場合、
お客様や運転手自身が『非常ブレーキスイッチ』を押すことで、車両が制動を開始し、
段階的に速度を落とし停車します。

このスイッチが押されると、車内では音声アナウンスが流れ、また赤色警報ランプの
点滅により緊急事態であることをお客様に伝えます。車外へもクラクションを鳴らし、
ハザードランプとブレーキランプを点滅させることで緊急事態であることを伝えます。

- ◆ 国土交通省が策定した「ドライバー異常時対応システム」技術指針に準拠した安全装備のひとつです。
- ◆ 運転手が急病等で運転できなくなった場合は、『非常ブレーキスイッチ』を押して下さい。
なお、それ以外の場合に『非常ブレーキスイッチ』を押すことは、
法令により禁止されています。
- ◆ お客様用の『非常ブレーキスイッチ』は、運転席のすぐ後ろ付近に設置されています。
- ◆ 非常ブレーキでバスが停車後、運転席（ハンドル左下）のレバーを下に引いて、
駐車ブレーキを掛けて下さい。

非常ブレーキスイッチ のお知らせ

運転席の直ぐ後ろに
設置されています。



運転手が急病などの場合

スイッチを押すと
バスが緊急停止します

緊急時以外は
押さないで下さい



非常ブレーキが作動したら

赤いランプが点滅し
音声アナウンスで警報

手すり・ つり革に
おつかまりください。



緊急停止後

駐車ブレーキを
下げてください

ハンドルの左下に
設置されています。



ご理解・ご協力のお願い

警察¹¹⁰・ 消防¹¹⁹へ
通報してください

むやみに車外へ出るのは
お控えください。



お願い

緊急時以外は
押さないでください

法令により禁止
されています。

